

研究事業 衛星観測センター

委員会からの主要意見

現状についての評価・質問等

- 衛星による温室効果ガスの全球観測は国際的に関心が高く、衛星観測連携事業として推進することは重要である。
- 資源を有効に活用した計画であると判断される。外部とのインタラクティブな連携を活用した発展を期待したい。
- GOSAT-2 あるいは3で同位体分子種の計測の定量性は考えられているか？

今後への期待など

- GOSAT 観測を長期に実施すると同時に、その経験を生かして GOSAT-2 によるデータの取得と解析を行い、気候変動予測と排出抑制に貢献することを期待する。
- GOSAT データの活用と国際的動向を踏まえた GOSAT-2 以降の計画についても早期に検討が重要と考える。

主要意見に対する国環研の考え方

- ①事業としての重要性をお認めいただき、ありがとうございます。限られたリソースを最大限に活用するためにも、外部機関等との関係をさらに深めていきたいと考えております。
- ②GOSAT 観測の長期継続は国際社会に対する重要な貢献と捉え、その確実な実施を担保するように致します。
- ③GOSAT-2 データの取得・解析については、気候変動予測と排出抑制への貢献をその重要な出口の一つとして、2017 年度の打上げに向けた準備を進める所存です。
- ④GOSAT-2 以降の計画については、今年度より所内の若手を中心に、外部有識者を交えて準備検討を開始する予定です。
- ⑤GOSAT-2 では同位体分子種の計測の定量性については本格的な対応(プロジェクト／事業的な対応)には至っておりません。GOSAT データを用いた水の同位体に関する先駆的な研究は既に数例ありますが (Gribanov et al, ACP, 2014 や He et al., JGR, 2015 等)、まだ定常処理に反映する段階ではなく、GOSAT-2 においては研究公募等のスキームで対応することになると考えております。また GOSAT-2 以降については今年度から始まる準備検討の中で議論される見込みです。